

北海道の成長の姿を考える

—人口減少、グローバル時代の地域戦略とは—

北海道経済学会は、1951年に設立され、これまで北海道の経済学者・経営学者の研究の研鑽と交流の場として活動を続けてきました。今回は、大きな節目となる第100回目のシンポジウムです。これを機会に今後、一層活動の幅を広げてまいります。

現在の北海道にとっては、人口減少や超高齢化に真剣に向き合うと同時に、グローバルな動向を注視し、地域自らの力で経済成長の可能性と道筋を探求することが急務です。教育研究機関および研究者がこの課題に取り組むためには、経済活動が実践されている現場からの声を真摯に受け止める必要があります。こうした趣旨から「北海道の成長の姿を考える」をテーマに、北海道経済をリードする講演者をお招きし、幅広い意見交換を通じて、北海道のとるべき戦略や、進むべき方向について検討したいと考えます。

2016年 **7月30日** **土**

14:00~16:30(13:30開場)

北海道大学学術交流会館 小講堂

(札幌市北区北8西5-6 北大正門入って左手)

参加自由・無料

■基調講演

大内 全 北海道経済連合会 名誉会長
「北海道の長期的発展に向けて」

大西 雅之 鶴雅ホールディングス株式会社 代表取締役社長
「北海道観光の課題と戦略」

石橋 榮紀 浜中町農業協同組合 代表理事組合長
「北海道農業の可能性と挑戦」

■パネルディスカッション

パネリスト **大内 全**
大西 雅之
石橋 榮紀

コーディネーター **小磯 修二** 北海道経済学会代表理事(北海道大学公共政策大学院 特任教授)